

臨床研究の実施に関する情報公開

」静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	腹腔鏡下胃切除術後患者へのアセトアミノフェン定期投与の有用性の検討
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	白木 巧
研究期間	2019年 12月 ～ 2021年 3月
対象者	2016年 1月より2019年 9月までの約4年間に当院で腹腔鏡による胃癌手術をされ、術後鎮痛として硬膜外麻酔のみ、もしくは硬膜外麻酔とアセトアミノフェン静注薬の適宜投与を行った患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	近年、外科手術の安定とともに、侵襲の低減と術後の回復促進を強化することが推奨されています。患者の苦痛を軽減することをめざして、今まで通常行われてきた硬膜外麻酔に加えて、アセトアミノフェン静注液を定時投与することで、術後の疼痛軽減となり得るかどうか検討いたします。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 ・背景因子（年齢、性別など）、 ・臨床データ（手術時間、術後の疼痛の強さ（NRS）、シバリングの回数など）
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 消化器外科 白木 巧 代表 054-247-6111